

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和4年度) 2022年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
		3	11	土	9:00	12:00	脚折菜園
活動名称	桜接木・植え替え					報告者：小沼	

<活動目的>

会員の自宅で1年間育苗してきた小彼岸桜の苗を脚折菜園に移植し、更に菜園で1年間育苗し来年出荷できるようにする作業と、桜は通常接木により育成するが、当クラブでは挿木方式であり、初の取り組みとして大森農園にある8種類の桜の新芽を採取し、脚折菜園で育苗してきた小彼岸桜に接木する作業を実施した。

<主な活動内容>

- 会員（橋本、杉山）宅で育苗してきた63本の2年目の小彼岸桜を菜園に移植した。
- 昨年5月、越生のさくら公園で18種類118本の新芽を採取し、会員（橋本、小沼）宅で育苗してきたが、生き残ったのは13本であり、新芽からの育苗は1割に満たなく、かなり難しかったが、13本を脚折菜園に移植することができた。
- 大森農園で採取した新芽を脚折菜園の小彼岸桜に28本接木した。
接木方法は小彼岸桜の元木を切断し、切れ目を入れたところに新芽の枝を差し込み、テープで固定し、更にペットボトルの胴体で囲み、中に土を入れ固定化する作業である。
どれくらい生き残れるのか楽しみである。

<課題・評価>

2017年より取り組んでいる当クラブの桜育成・植栽は小彼岸桜のみであったが、今回、さくら公園と大森農園の桜を取り入れ、桜の種類を増やすことができた。

なお、脚折菜園にある根巻した小彼岸桜は、4月の東市民センター「結桜祭」や6月の環境月間で配布するが、他の植栽・配布先を検討する必要がある。

<里山参加会員>

牛島、内藤、橋本、小沢邦、杉山、小嶋、小沼

<活動写真>

